

ともに生きる 命・生き方



みんな生きている いつまでもいっしょだよ

放送日:2007年7月10日 放送時間:15分

対象校種 小学校高学年 中学校

対象教科 道徳科 学級活動

この番組の良さ

● 命の尊さや家族のきずなを考える

横幕航平くんは3人兄弟の長男。この番組は、4歳の時に白血病と診断された航平くんが、弱音を吐かず、一生懸命病氣と向き合い、5年3か月という短い命を全うする姿を描いています。航平くんは闘病中も、最後まで家族のことを気にかけて、弟たちへの愛情を注ぎます。また、弟たちや家族も航平くんを励まし続ける様子が見えます。本番組では、その家族の姿を通して、命の重さや尊さ、かけがえのない家族の大切さについて考えることができます。

● 自分の生き方を見つめ直す きっかけに

航平くんは、病氣を克服するためにつらい治療を受けながらも、弱音を吐くことはなく、常に明るさを失わずに病氣と闘っていました。あきらめずに病氣に立ち向かう航平くんの姿を通して、意思を持って行動することの大切さや、自分自身の生き方を見つめ直し、これからの生き方考えるきっかけにすることができます。

番組活用のポイント

● 「特別の教科 道徳」の教材として

「みんな生きている」は、ドキュメンタリー番組であり、さまざまな人間の姿を紹介しています。登場人物のリアルな生き様が児童生徒に多くのことを考えさせてくれます。

本番組は小学校道徳の授業、「19 生命の尊さ」や「15 家族愛、家庭生活の充実」などの価値項目と関連付けて活用できます。

「命の尊さ」として活用する場合は、病氣を克服するために弱音を吐くことなく、苦い薬を飲んだり、苦しい治療を受けたりする姿や、呼吸がいつ止まってもおかしくない中で、天井に貼られた弟たちの写真を見つめながら必死に生きる姿など、航平くんの病氣と向き合う様子に着目し、一つしかない命を懸命に生きることや、命を大切にすることを考えることができます。

「家族愛、家庭生活の充実」として活用する場合は、航平くんと弟たちとのビデオメッセージのやりとりや、航平くんが弟たちにプレゼントを準備する姿、酸素テントから弟たちと必死に手をつなごうとする姿、またそれを見守る家族の姿など、家族を思い闘病する航平くんと、それを支え励ます家族の姿に着目し、家族が病氣に立ち向かう様子を通して、深い信頼関係が結ばれていくことについて考えを深めることができます。

● 希望や目標を持って日常生活を よりよくしていくために

航平くんが病氣に立ち向かい、必死に生き抜こうとする姿からは、「病氣の克服」という目標に向かって努力する強い意志を感じることができます。その姿から本番組を、道徳の授業「5 希望と勇気、努力と強い意志」でも活用することができます。また、学級活動(3)一人一人のキャリア形成と自己実現「ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の育成」においても、導入や終末時において部分視聴等での活用を通して、希望や目標を持って日常生活をよりよくしていく態度を養うことができます。






執筆者
西原町教育委員会
教育総務課
指導主事 甲斐 崇

家族ってどうして大切なんだろう？ 家族のためにできることを考える。

対象校種 小学校 対象教科 道徳科 学級活動

【授業時間 45分】 まるごと視聴

児童生徒の思考と活動の流れ	教師の支援と評価
<div style="text-align: center;"> <p>お父さん お母さん</p> <p>兄弟、姉妹</p> <p>おじいちゃん おばあちゃん</p> <hr/> <p>家族ってどんな存在なのだろう？</p> <hr/> <p>大切な存在</p> <p>いつも支えてくれる存在</p> <p>ちょっとうるさい存在</p> <p>いるのが当たり前存在</p> <hr/> <p>病気になるのになぜそこまで家族のことを思えたのかな。 なぜ家族って大切なんだろう？番組を見たい！</p> <hr/> <p>番組まるごと視聴（15分）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>弟たちにプレゼントを準備している様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>一時帰宅後病院に戻る際に車中で泣く様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>病室で必死に弟たちの手をつなごうとする様子</p> </div> </div> <hr/> <p>・弟たちに何かしてあげたい ・喜んでくれるかな</p> <p>・弟たちに泣いている姿を見せて心配させたくない ・絶対治して帰りたい</p> <p>・また一緒に遊びたい。 ・あきらめたくない。</p> <hr/> <p>・闘病を支えてくれる弟たちや家族のためにも、絶対に治したいんだ。 ・自分の命を一生懸命生きているんだ。 ・苦しくても最後まであきらめないでがんばることってすごい。</p> <hr/> <p>家族ってかけがえのない存在なんだ。だから頑張れるんだ。</p> <hr/> <p>家族が自分のためにしてくれていること、自分が家族のためにやっていることやできることは何かを考え、全体で話し合う。</p> <hr/> <p>家族の幸せのために、自分にできることをがんばりたい。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の構成メンバーについて聞く。家庭環境が複雑な児童生徒がいる場合には配慮して聞くようにする。 ・家族がどのような存在なのか、実際の生活をふりかえり、話し合う場を設定する。 ・病気で亡くなった航平くんが、最後までに家族のことを考えていたことを紹介する。 ・課題意識をもって番組を視聴できるよう、航平くんの闘病の様子に焦点化し、必然性をもつことができるようにする。 ・番組視聴後、航平くんと家族との関わりの中で象徴的だった3つの場面を振り返りながら整理する。 ・何が航平くんを支えたのかを考え、話し合う。 ・家族にとっても航平くんのがんばりが支えになっていたことに気づくようにする。 ・改めて自分が家族にしてもらっていること、家族のために行っていること、やってみたいことを考えノートにまとめる。 <p>【道徳的意欲と態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族に対して尊敬や感謝の念を持ち、自分には何ができるか考えることができたか。